

遠地津波の数値計算
—線形長波式と線形 Boussinesq 式による計算結果の比較

谷岡勇市郎 北海道大学

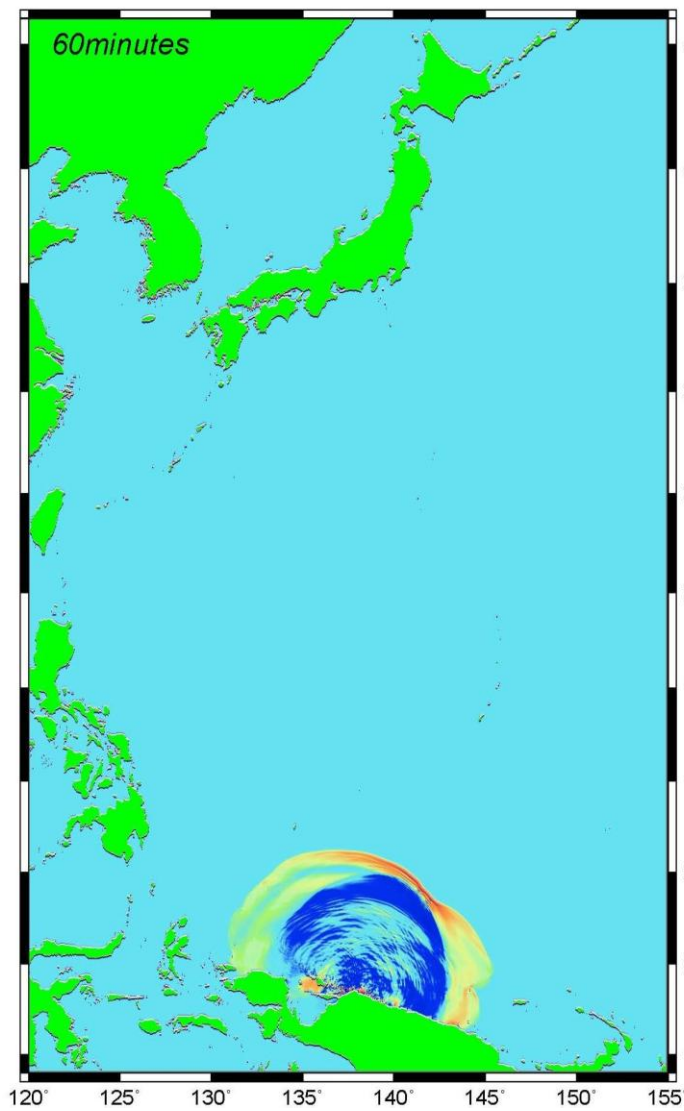
パプアニューギニアで M8.5 の地震を仮定して数値計算を行った。

断層モデル（長さ 300km、幅 80km、すべり量 7m、走向 110° 、傾斜角 15° 、すべり角 90° 、
最浅深さ 3km）

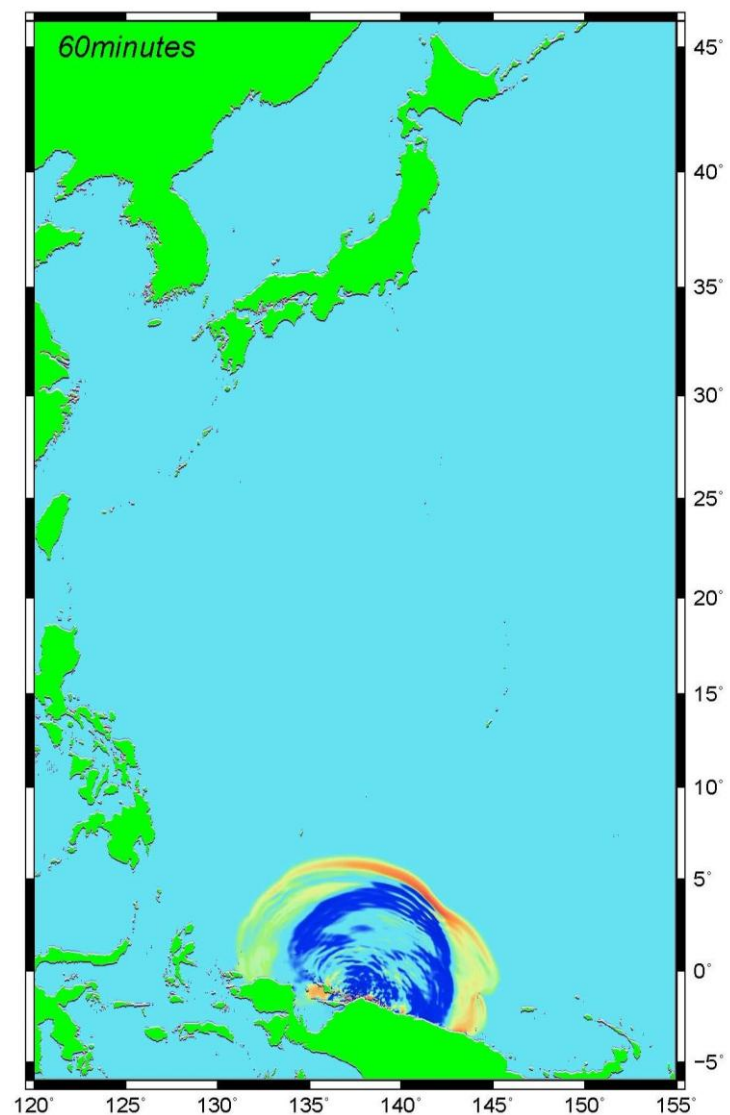
さらに、幅の狭い M8.2 の地震についても比較を行った。

断層モデル（長さ 300km、幅 30km、最浅深さ 10km、他は上記モデルと同様）

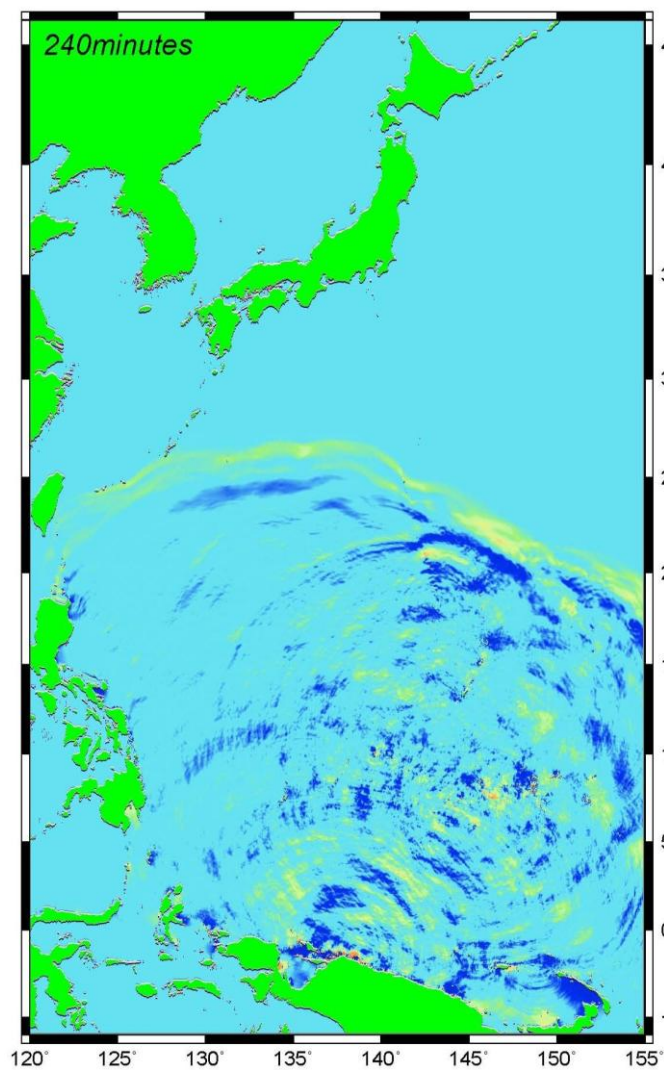
1) 最初の断層モデルによる計算結果



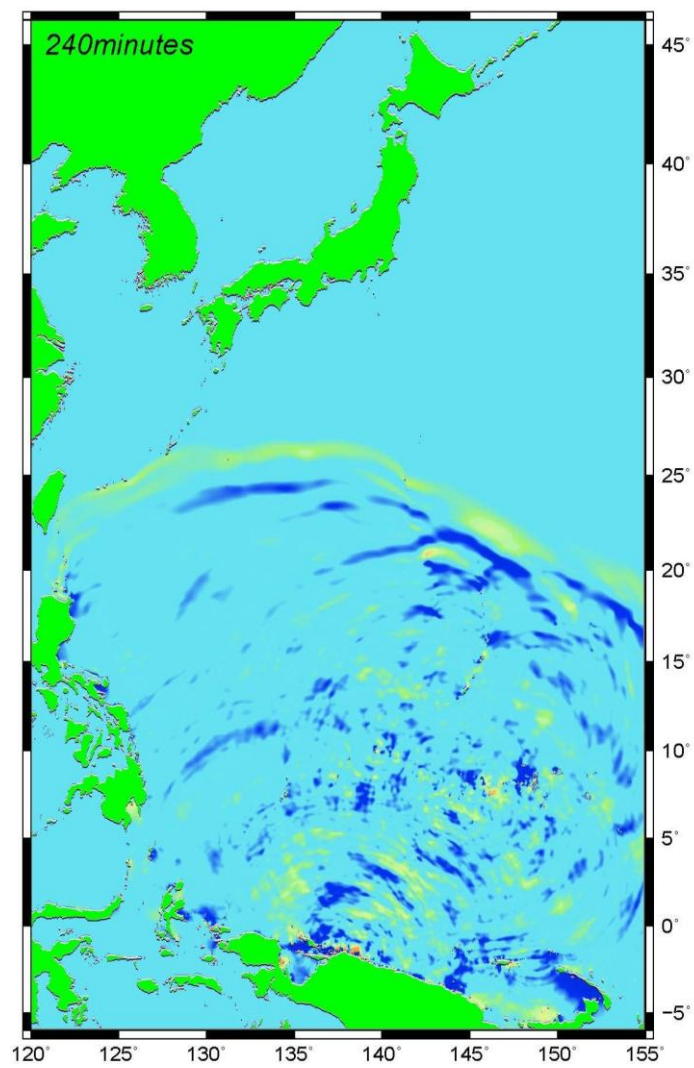
線形長波式



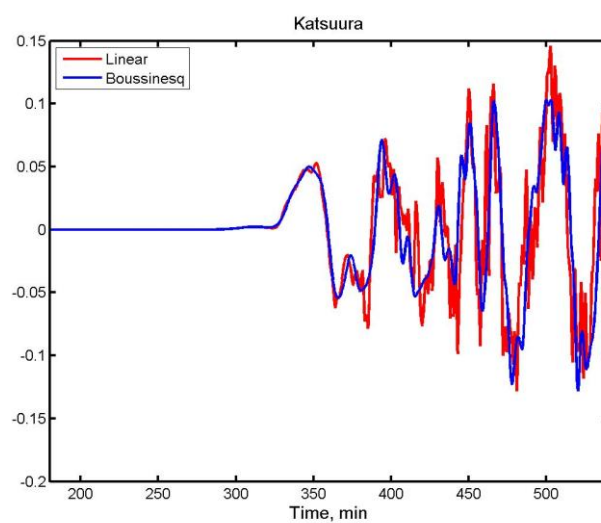
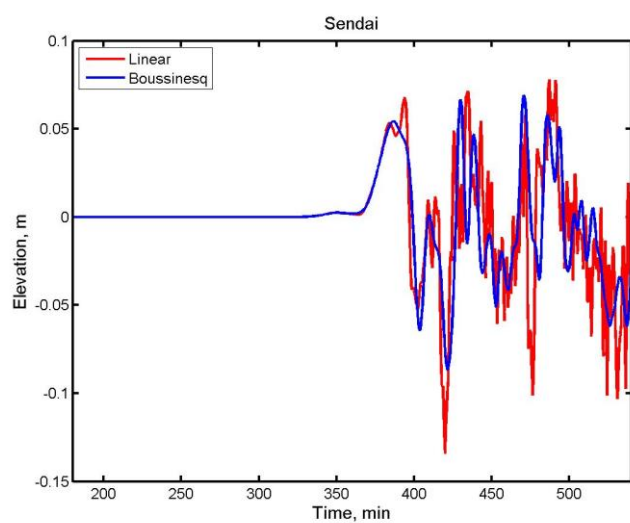
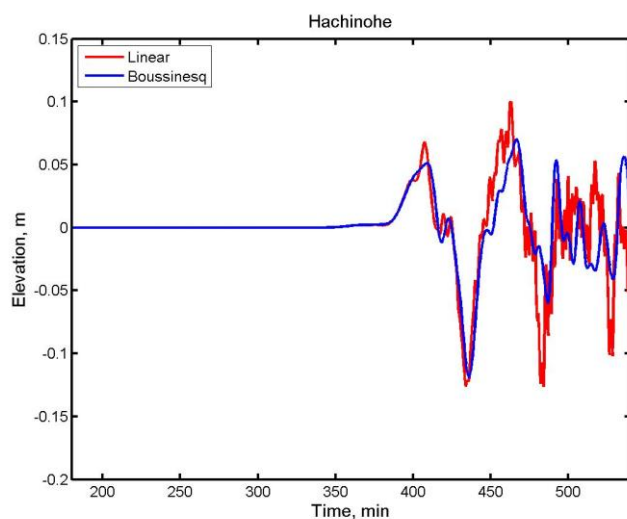
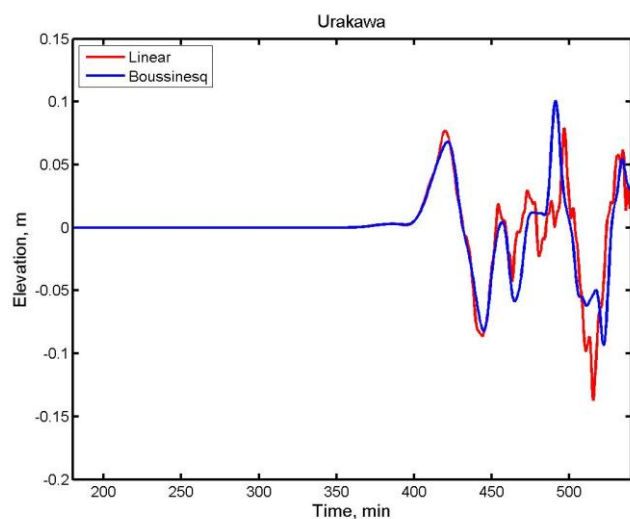
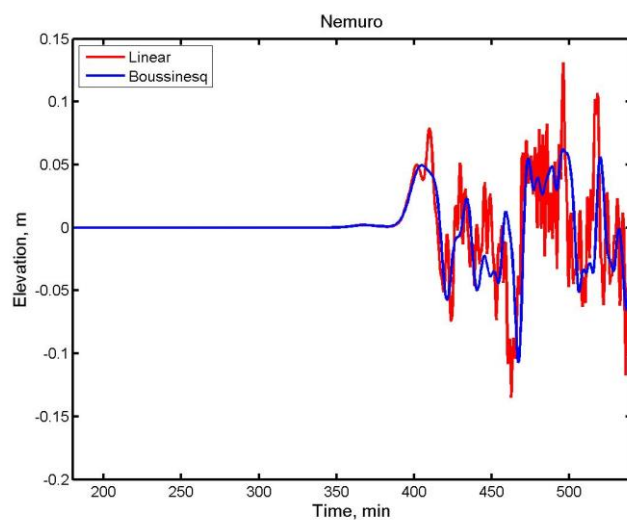
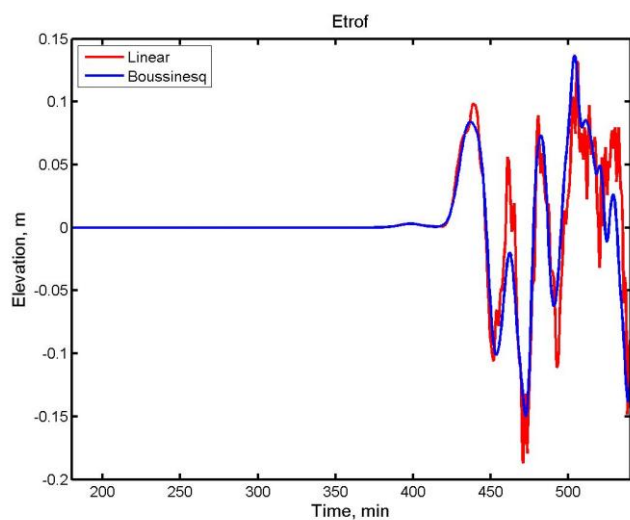
線形 Boussinesq 式

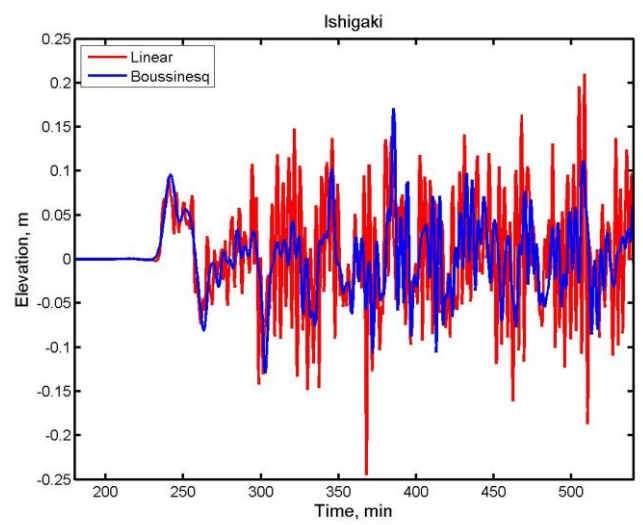
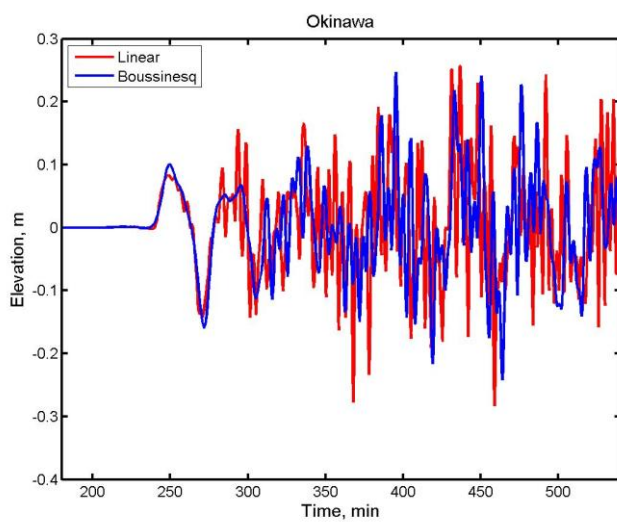
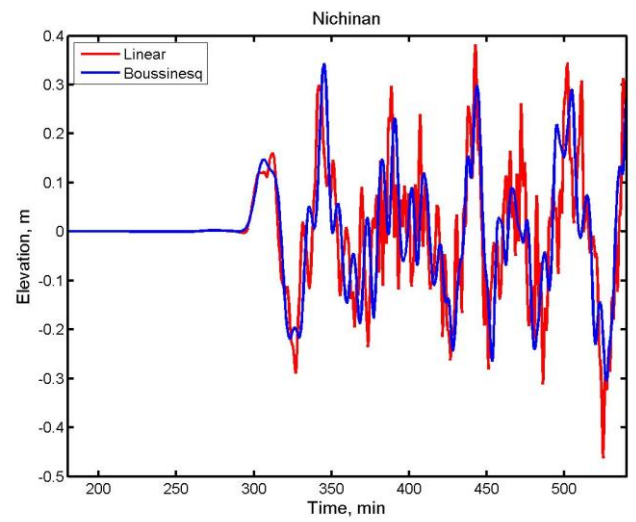
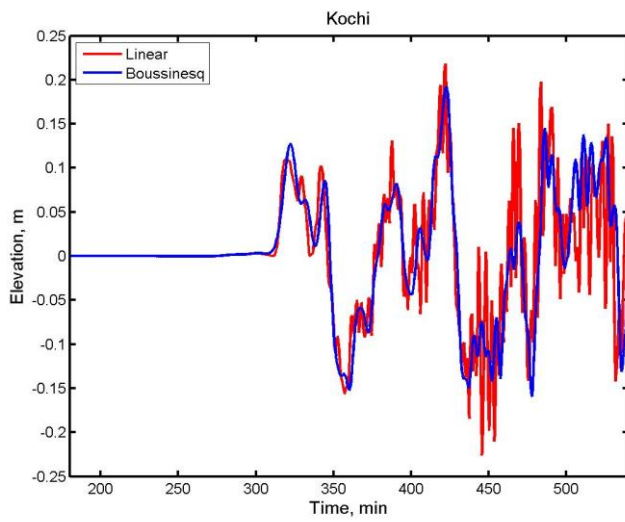
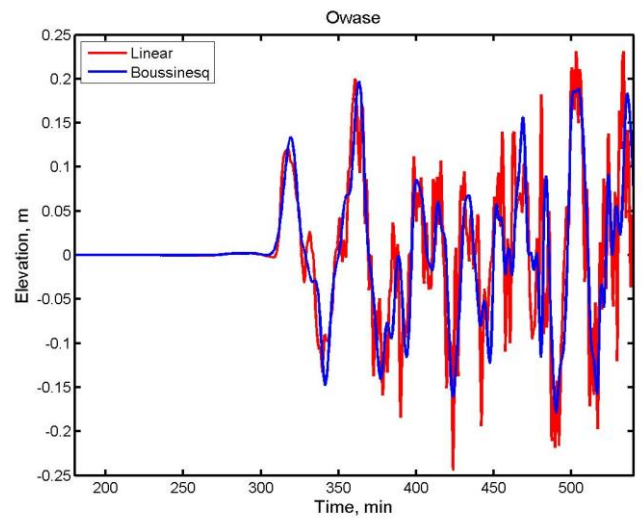
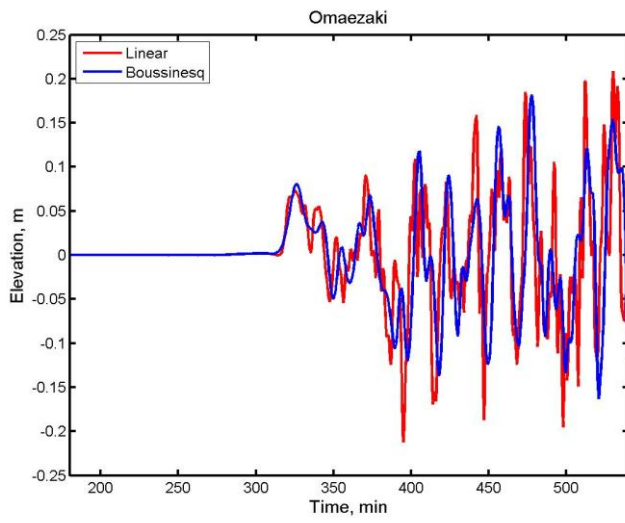


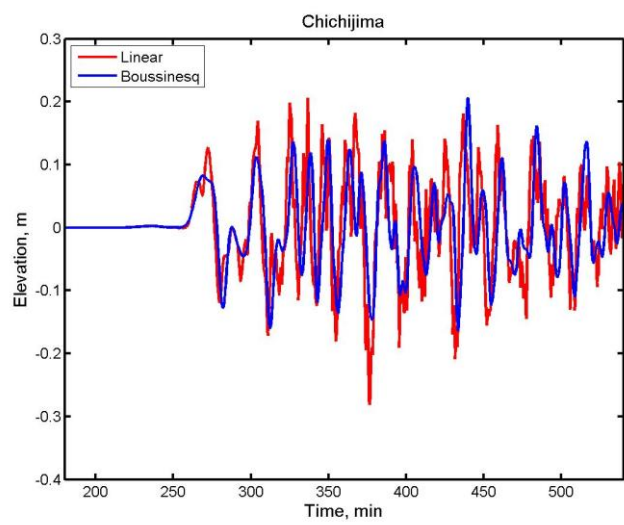
線形長波式



線形 Boussinesq 式







2) 幅の狭い (30km) の断層モデルによる結果

